会　務　報　告

1．総会のご報告

10月7日大阪市立自然史博物館集会室にて，53年度関西自然保護機構定時総会が開催されました。析柄の雨天と総選挙とあって来会の皆様方には相当のご苦労があったと思われます。午後1時20分に開会され，出席定足数（委任状を含めて69名）充当に付き，会議は成立し下記順序にて議案は慎重審議，とどこおりなく1時50分に終了しました。

1．朝日理事長より53年度決算報告及び54年度予算の説明

2．各委員会報告

総務委員会……朝日　稔　氏

資料委員会……千地　万造　氏

研究調査委員会……菅沼　孝之　氏

3．第1号議案　昭和53年度事業報告及び決算の件

第2号議案　昭和54年度事業計画及び予算の件

上記は，万場一致で承認されました。

2．本年度の助成研究決定

11月10日午後2時より都市文化センターにて，研究調査委員を開きました結果，次の3件に助成することを決定しました。

1．研究テーマ　大阪府芥川における底生生物の経年変化

グループ名　高槻公害問題研究会

（代表者　田口　圭介）

助成金額　20万円

研究内容紹介

高槻市芥川の底生生物調査は来年で10年となり，このような長期間にわたって連続的に調査された例はない。特に，人間による水質汚濁との関係についても精密な分析が行われている例であり，「水系とそこでの人間の生活問題」を把握する上で重要な貢献をなしうるものであろう。

2．研究テーマ　賀茂川鳥類調査

グループ名　賀茂川鳥類調査グループ

（代表者　中　西　　収）

助成金額　3万円

研究内容紹介

京都市内賀茂川において，生物がどのように生きているか逆に生物の例から見て賀茂川とはどのような場所なのかと考え1977年11月～1978年10月の1年間鳥類について調査した。今後の活動として，少なくとも2～3年は調査を続け，周辺地域での調査や他の生物調査を行って生態系としての賀茂川の全体像を見つめてゆきたい。

3．研究テーマ　日高川生物相調査

グループ名　日高川生物調査グループ

（代表者　乾風　　登）

助成金額　10万円

研究内容紹介

日高川およびその河口域に生息する大型動物を継続的に，詳細調査している（鳥類，魚類，大型底生生物etc）。日高川は本格的ダムのない河川であるが，上流ではダム工事にはいりつつあり，河口域でも火力発電所の建設が認可となった。大きく変貌する河川の現状を記録し，まとまった形で記録を残していきたい。

3．別刷り寄贈について

三重大学水産学部の名越誠先生から次の別刷りを御寄贈いただきました。ありがとうございました。

○三重県における淡水魚類の分布　　淡水魚4号1978

○大杉谷の渓流性魚類と水性昆虫

大杉谷・大台ケ原自然科学調査報告書1972

○木津川とその周辺溜池の水生昆虫と魚類

上野市南部都市開発に伴う自然環境調査及び影響評価報告書　1976

○父ケ谷水域の動物プランクトン・水生昆虫及び魚類

宮川揚水発電計画に伴う父ケ谷地域自然環境調査報告書　1975

○天然記念物緊急調査報告書　　三重県教育委員会1970

4．別刷りを御寄贈下さい。

会員の皆様の書かれた論文，特に自然保護に関連のある内容の論文を資料委員会に御寄贈下さい。

ＫＯＮＣの会員は，さまざまな分野の，専門を異にする研究者が集まっておりますが，普通なら目にすることのない分野からの情報も得られるようにする必要があると思っています。ニュースや会報でそのような情報を流してゆきたいと思っていますので，よろしくお願いします。

なお，資料委員会で適当と考えた場合は，予算の範囲内で別刷りを会員に配布したいと考えています。そういう論文の本人からの申し込み，あるいは紹介もあわせてお願いします。

5．次号会報のお知らせ

会報No.5は，現在編集中で4月下旬に発刊の予定です。会報の主な内容は下記のとおりです。どうぞご期待ください。

論説

賀茂川鳥類調査……賀茂川生態調査グループ

短報

自然観察指導員検定制度について……朝日　稔
秋元　宏

自然保護ニュース

箕面のサル……箕面山サル調査会

大阪府下の猟銃禁止区域……自然環境保全協会

6．総務委員会からのお願い

54年度会費未納の方は，おそれいりますが同封の振込用紙御利用の上お送り下さいますようお願いします。

原稿募集についてのお願い

会員の皆様からの投稿をお待ちしております。種類は下記のとおりです。（原稿用紙は400字詰横書）

1．原著論文及び論説
　イ．原稿用紙50枚以内（図表を含めて刷上り10ページ）
　ロ．表題・著者名は，和・欧両文で記して下さい。
　ハ．別刷は100部まで無料。それを超える場合には希望部数をお知らせ下さい。
2．短　　報
　イ．原稿用紙10枚以内
　ロ．別刷は100部まで無料。それを超える場合には希望部数をお知らせ下さい。
3．自然保護ニュース
　各地の自然保護に関するニュースを原稿用紙5枚以内
4．提言・随想　　原稿用紙2枚～3枚
5．書　　評　　原稿用紙2枚～3枚

業績番号についてのお願い

本機構では，次のものについて原則として発表先を問わず業績番号をつけることにしましたので御協力下さい。

1．本機構が事業として行った調査研究成果
2．本機構が助成金を交付した調査研究成果
3．会誌（会報および年報），その他ＫＯＮＣ出版物に掲載した調査研究論文
4．上記研究から派生して得られた成果，あるいは会員が業績番号を付した方が良いと判断されたもの。

本機構の出版物リスト以外に投稿された場合の業績番号の入れる位置は，各出版物の規定に従って下さい。ただし，和・欧文とも下記の表現をお使い下さい。

関西自然保護機構業績第　号
Contribution from Kansai Organization for Nature Conservation, no. _____

番号は，その都度，資料委員会にお問合せ下さい。

関西自然保護機構会報　No.4
編集発行人　関西自然保護機構
編集委員　千地万造・石田志朗・渡辺弘之・佐藤治雄・堀　道雄・布谷知夫・山西良平
大阪市北区西天満4丁目10－7　書協ビル内　電話06－364－2422　郵便番号530　振替口座・大阪16679